

## ご あ い さ つ

令和3年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様へ情報を提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。

令和3年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の深刻な拡大とロシア軍によるウクライナ侵攻の開始が、社会に大きな影響を与えた年でした。

市では、コロナ禍の影響を受けた多くの市民の皆様に、様々な支援を行ってまいりました。そのような中、市民の皆様が感染防止対策と社会経済活動の両立に努力され、ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

また、コロナ禍ではありましたが、栃木駅前の観光交流館「蔵なび」の開館をはじめ、嘉右衛門町伝建地区における拠点施設「ガイダンスセンター」、そして、旧蔵の街美術館の蔵を利用した「蔵の街市民ギャラリー」を開館し、観光や文化活動の振興に向け取り組んでまいりました。

引き続き感染症対策に取り組みながら、本市の持つ観光資源や観光拠点を活かした賑わいを創出するとともに、安全・安心な街づくりを進めるため関係機関等と連携し治水対策を促進してまいります。

今後におきましては、子どもから大人まで、すべての市民の皆様が夢や希望を持ち、未来に向かって歩めるまちづくりを目指してまいりますので、市議会をはじめ、皆様の温かいご理解と更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年8月

栃木市長 大川 秀子

